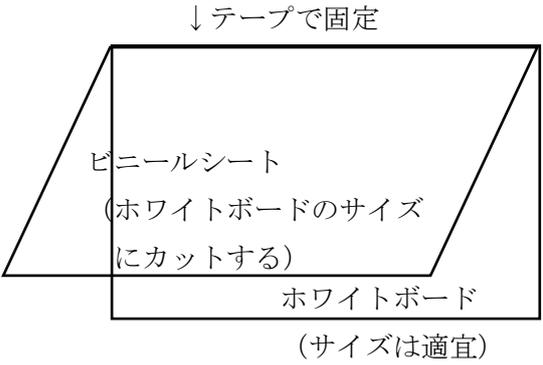
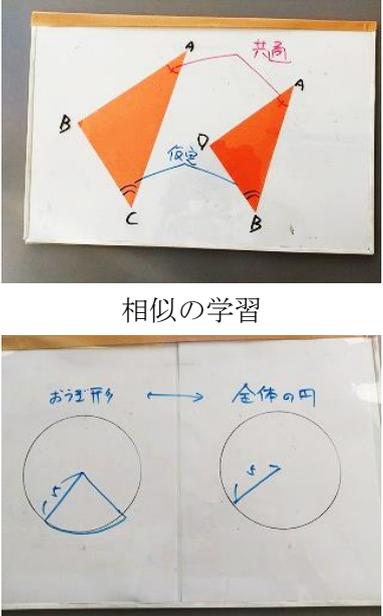


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 ホワイトボードを用いた、個の特性に応じた学習支援</p>	<p>【学校名】 日立市立坂本中学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 算数・数学のグラフや図形に関する学習</p>	<p>【制作者名】 荻津 知也</p>
<p>【制作の意図】 黒板・机上の視点移動が苦手な生徒に対して、手元で説明ができる教具としてホワイトボードを活用している。 また、グラフや図形について理解しやすくするために、必要な資料を挟むためのビニールシートをつけた。</p>	<p>【使用方法】 ビニールシートの下に拡大コピーした教科書や様々な図形の紙を挟み、そのままホワイトボードマーカーで記入する。</p>
<p>【制作上の工夫】 拡大した資料を挟めるよう、大きなホワイトボードを使用した。</p>	<p>【見取り図】</p>  <p>※ ビニールシートによってはマーカー跡が消えにくい面があるので、確認してから固定した方がよい。</p>
<p>【写真】</p>  <p>相似の学習</p> <p>おうぎ形の学習</p>	<p>【使用効果と応用発展】 視点の移動が少なくなったことで、生徒の負担が減少し、学習に集中できるようになった。 グラフや図形に気がついたことを記入しながら考えることで、考えをまとめやすくなった。 今回は教師が主体で使用するために大きな(A3が入る)サイズで作成したが、児童生徒が主体で使用する場合は、B5~A4程度のサイズにした方が、取り回しがしやすいのではと考える。</p>
<p>【材料・材質・部品等】 ホワイトボード ビニールシート (透明なテーブルクロスを利用)</p>	